

景観アドバイザーからのご意見



石川 初氏

慶應義塾大学 環境情報学部教授
調布市景観審議会委員
調布市景観アドバイザー

- 地図やネットで見ているだけでは分からないことが、実際に街を歩いたことでいろいろと発見できたことがよかったと思う。

八雲台 小学校区	沿道に面する地域が多くあり、そのなかでも京王線の地下化や季節に応じた身近な風景の変化
深大寺 小学校区	大きな緑の存在とともに、周辺の小さな緑により地域の緑の繋がりを感ずることができる地域
上ノ原 小学校区	崖線の影響が大きい地域で、歩いてみることでわかる大きな樹木の存在感
北ノ台 小学校区	多くの場所から周囲を見渡せ、空の広がりを感じることができる地域
柏野 小学校区	水と農が特徴で、湧水や用水などの水のネットワークを感じることができる貴重な地域

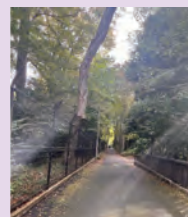
- 調布市全体でみると大きな緑は比較的充実している印象がある。そのため、その周辺に小さなみどりを創出していくことで緑が繋がっていくことになると思う。今後は「身近なみどり」をつくっていくことも大事なテーマの一つになると思う。

石川研究室が 見つけてきた風景 小学校区 - 北エリア

調布市景観アドバイザーである慶應義塾大学の石川教授とその研究室の学生が、市民検討会と同じ地域を歩き発見してきた風景について発表していただきました。その内容の一部を紹介します。



野川と地域の販売所



観光名所にきたと
感じさせる緑の道



崖線の高低差を
感じにくい通り



建物と樹木の高さが揃い
連続性を感じる通り

パネル展示会のお知らせ

調布市では景観計画の見直しに向けた検討を進めるなか、現在の状況を市民の皆さんに周知するため、現行の景観計画をはじめ、市民ニーズ（アンケート結果）、参加者を中心に活動が続けている市民検討会の活動状況などを報告するためのパネル展示会を右記の日程で行います。

令和6年度 調布市の景観について / パネル展示会

日にち：令和7年1月29日（水）～2月7日（金）

時間：午前8時30分～午後5時

※初日は午前10時より、最終日は午後4時まで

場所：調布市役所2階 市民ロビー

市役所開庁時のみ開催のため、開庁時間以外及び土日、祝日は開催しておりませんのでお気をつけください。

調布市では、景観まちづくりについて、景観だよりでお知らせしていきます。

発行：調布市都市整備部 まちづくり推進課 開発景観係

Tel：042-481-7442 Fax：042-481-6800 Email：tikubetu@city.chofu.lg.jp

ちょうふ景観だより

第65号 令和7年
1月24日発行

「協働による身近な景観まちづくり」について② 小学校区／北エリア



各小学校区の景観まちづくりについて話しあいました

市民検討会では、協働による身近な景観まちづくりの検討として、北エリアにある5つの小学校区を対象に、検討会メンバーが実際にまちを歩き、魅力ある景観を発見し、それらをもとに小学校区別に景観まちづくりに向けた意見交換を行いました。また、意見交換にあたっては、慶應義塾大学石川研究室にも参加していただきました。

本号では、北エリアの検討成果の一部を紹介します。

協働による身近な景観まちづくりとは…

調布市景観計画では、市全体を対象とした方向性に加えて、より身近な地域として市内にある20の小学校の校区を対象として、特性や景観資源、方針（案）などを示し、市民と協働により行う身近な景観まちづくりを目指しています。

※詳細については調布市景観計画11章参照

検討テーマ「協働による身近な景観まちづくり」について考えよう！

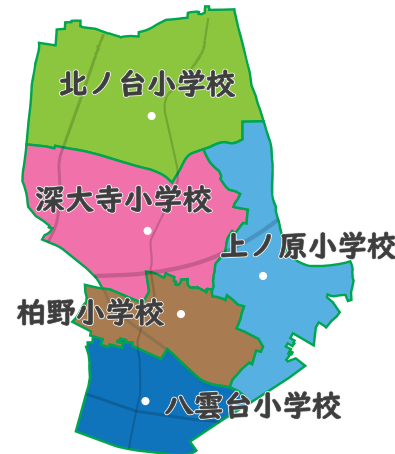
vol.2：小学校区 - 北エリア編

第3回は、調布市の北側に位置する5つの小学校区を対象に協働の景観まちづくりについて意見交換を行いました。

本号では、検討会の皆さんが発見してきた魅力や今後の景観まちづくりに向けた意見等を小学校区ごとに整理し、一部をご紹介します。



小学校区 - 北エリア

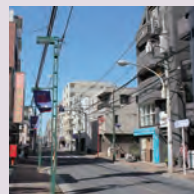


八雲台小学校区の景観

○発見した魅力的な景観



憩いの場となる野川とその沿道



旧街道を感じさせる街灯や舗装



鉄道敷地上部にできた新たな散策路



農のある生活文化を伝える市民農園

○景観まちづくりへの意見等

- 野川の潤いのある景観形成を継続していく。
- 旧甲州街道の趣の残る沿道の街並みを活かしていく。
- 市民農園をはじめ農地が多いことを活かしていく。
- 京王線の地下化に伴いできた鉄道敷地上部の遊歩道を活かしていく。

深大寺小学校区の景観

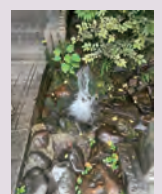
○発見した魅力的な景観



地域だけでなく調布市を象徴する深大寺



石垣が残り歴史を感じる佇まいの小学校の景観



潤いを感じる湧水や水路のある風景



懐かしさを感じる農地のある風景

○景観まちづくりへの意見等

- 深大寺・神代植物公園など大きな観光資源があるが、市民にとっても魅力のある場所にしていく必要がある。
- 観光資源へのアクセス向上を促す景観づくりを行っていく。
- 大きなみどり（神代植物公園など）と小さなみどり（農地など）のお互いの良さを活かすとともに一体感を創出していく。
- 生産緑地の宅地化に伴う緑の減少などに対応していく。

上ノ原小学校区の景観

○発見した魅力的な景観



小学校前のゆとりのある連続的な歩行空間



木々のバランスが良く散策したいと感じる公園



畑と空が広がりほっとする風景



先に何があるかを感じさせる旧河道の風景

○景観まちづくりへの意見等

- 季節を感じる要素となる河川と畑がある風景を活かしていく。
- 高低差のある場所（坂道）の特性を景観まちづくりに活かしていく。
- 公園とは違うまとまった空間として公開空地を新たな賑わいの場として活用していく。
- 低層住宅での緑の創出に向けた方策を検討する。

北ノ台小学校区の景観

○発見した魅力的な景観



色彩が豊かで季節感を感じる校門前の風景



児童公園にひっそりとたたずみ落ち着きを感じさせる庚申塔



木々が生い茂り森を感じる道の風景



武蔵野の原風景と空への広がりを感じる景観

○景観まちづくりへの意見等

- 高台かつ低層住宅地であることで空の広がりを感じる景観（眺望）を残していく。
- 農地は市の財産としてできる限り残し活かしていく。（農業体験、教育の場など）
- 緑が多く落ち着いた街なかを活かしつつ、賑わい創出のための方法を検討する。（少しでもあれば明るい色の活用など）
- 小さな公園が多い地域のため、親子連れが遊ぶ風景を守っていく。

柏野小学校区の景観

○発見した魅力的な景観



国分寺崖線の湧水を活用した田園風景



地域の貴重な歴史資源である虎狛神社



屋敷林を背景に農地と用水のある風景



住宅地に近接した農業を体験できる空間

○景観まちづくりへの意見等

- 里山の景観を守っていく。
- 崖線から湧水、小河川、野川への水の流れが分かる貴重な資源を残していく。
- 代替わりにより変化しやすい生産緑地は、何らかの形で「農」を伝承していく。（農業体験も活用）。
- 地域の緑の保全とあわせて水と農のある景観を守っていく。
- 地域の神社の繋がりのある歴史性を観光資源として活かしていく。

検討会のみなさんが発見してきた魅力ある風景の写真などをもとにグループワークを行い、資源マップや検討成果をまとめ、小学校区別に検討会メンバーが発表しました。

